



## 小千谷市のロケ地紹介



### 01 小千谷豪商の館 西脇邸

西脇家は江戸時代から縮仲買業を始めて巨大な財力の基礎を固めた後、貸金・土地投資などの事業拡大を行い、小千谷屈指の大地主に成長しました。西脇家の邸宅である、「西脇邸」は江戸時代から明治時代の豪商屋敷の特色を残している建物です。現在は四季の移ろいを感じることができる格式高い庭園を見学できます。西脇邸では、実際の建物の中で旅籠・枳屋のシーンが撮影されました。なお現在は建物内部の見学は行っていません。



図 小千谷市本町2-7-6 園 小千谷産業株式会社 0258-82-3000 (※降雪期閉鎖)

### 02 朝日山古戦場

北越戊辰戦争の激戦地である朝日山古戦場の山頂には、長岡藩ら旧幕府軍が築いたフランス式塹壕や野営場の跡が今も残されており、実際に映画のロケ地としても使われました。山頂までの道は狭い道となっておりますので、小型車両でお越しいただくことを推奨します。また、当時の様子を想像しながら約1時間の登山を楽しむのもおすすめです。



図 小千谷市浦柄 (※降雪期閉鎖) ※浦柄神社駐車場をご利用下さい。

### 03 オオクラ見晴台

オオクラ見晴台は、小千谷市南部にそびえる高場山の頂上付近に位置しています。見晴台からは小千谷市を一望することができます。また毎年6月には、地元の方の熱い応援が感じられる「高場山マラソン」も開催されます。オオクラ見晴台は、榎峠の戦いのロケ地に使われました。このシーンは、市内外から約200人のエキストラが参加しました。



図 小千谷市川井 (※降雪期閉鎖) ※道中未舗装区間がありますので、ご注意ください。

映画

# 峠 最後のサムライ

原作 司馬遼太郎「峠」(新潮文庫刊)

監督・脚本 小泉堯史

2022.6.17 公開

## 小千谷市 歴史・ロケ地 MAP

『峠 最後のサムライ』 2022年公開  
 ©2020『峠最後のサムライ』製作委員会  
 配給：松竹、アスミック・エース



### 北越戊辰戦争勃発の地 小千谷

慶応4年(1868年)1月、鳥羽伏見の戦いで戦火が上がり、各地に広がっていきました。当時の小千谷は小千谷縮の生産や交易など商工業で繁栄を築いており、幕府領で会津藩の支配下だった小千谷にも新政府軍が進軍しました。

その後、小千谷市南部の雪峠で新政府軍と旧幕府軍の戦が始まりました。新政府軍の猛攻により、旧幕府軍は撤退を余儀なくされ、小千谷陣屋を放棄して光福寺(長岡市楨田屋)に本陣を構えました。一方、新政府軍は小千谷の街中に拠点を構えましたが当時、商いを通じて政治情勢に通じていた小千谷の町民は、新政府軍に全面協力したことにより、戦火から町を守りました。

5月2日、長岡藩軍事総督の河井継之助は、新政府軍と長岡藩の衝突を防ぐために薩摩藩が宿陣していた慈眼寺におもむき、新政府軍軍監岩村精一郎と交渉におよびました。結果は30分程度で決裂したと言われています。(小千谷談判)

その後新政府軍は、三国街道の難所でもあった榎峠に進軍しました。小千谷談判が決裂した長岡藩を含む旧幕府軍は、苦戦をしいられましたが、榎峠の奪還に成功しました。旧幕府軍は、そのままうひとつの要所、朝日山の争奪に動きました。

榎峠の戦いに敗れた新政府軍は、朝日山へ進軍するためにも、小千谷の本営からの援軍を待つしかありませんでした。その際、梅雨の時期で信濃川が増水していたため、進軍が遅れました。朝日山の麓、横渡に渡った際は、既に旧幕府軍が朝日山を制していたため、新政府軍が奇襲をかけるも、失敗に終わりました。榎峠・朝日山の戦いで旗色が悪い新政府軍は、別隊が信濃川左岸の本大島(長岡市)に進軍。戦いの舞台は、長岡に移ります。



小千谷観光協会  
「おぢや路」



小千谷観光協会・小千谷市観光交流課  
TEL 0258-83-3512  
E-mail kanko@city.ojiya.niigata.jp

小千谷市  
観光サイト



小千谷市観光案内所  
TEL 0258-83-4800  
〒947-0028 新潟県小千谷市城内 1-8-25 サンプラザ内  
E-mail info@ojiyasunplaza.jp

ゆきとうげ げきせん ちきねんひ  
**雪峠「激戦の地記念碑」**

池ヶ原地区にある雪峠にて、北越戊辰戦争の最初の激闘「雪峠の戦い」の火蓋が切られました。現在は、小千谷市民有志により、激闘を伝えるための記念碑が建てられており、「昔戦場 今農場」と後世への想いが書かれています。



園 小千谷市池ヶ原

おぢやじんやあとせきひ おぢやみなとあときねんひ  
**小千谷陣屋跡石碑、小千谷港跡記念碑**

当時、小千谷の中心部であった下夕町（現元町）の中心を湯殿川が流れ、信濃川にそそぐ小千谷港近くに、会津藩が構えた小千谷陣屋が置かれていました。陣屋跡石碑からは、当時の賑わいを伺うことができ、小千谷港跡記念碑からは、この地の重要性がわかります。



園 小千谷陣屋跡石碑／小千谷市元町10-3  
 小千谷港跡記念碑／小千谷市元町5

じげんじ  
**慈眼寺**



越後長岡藩軍事総督「河井継之助」が長岡藩主「牧野忠訓」の嘆願書を持参し、新政府軍軍監「岩村精一郎」と講和談判を行った「会見の間」が当時のまま保存されています。なお見学には、事前予約が必要です。



園 小千谷市平成2-3-35 園 0258-82-2495  
 園 拝観料 300円 ※団体料金あり

**戊辰戦争関連史跡 MAP** 司馬遼太郎「峠」の碑



しばりょうたろう  
**司馬遼太郎「峠」の碑**

信濃川に架かる「越の大橋」の西端には、今作映画の原作者・司馬遼太郎氏直筆の碑が、戦場となった榎峠と朝日山古戦場を見守るように建っています。碑には、司馬氏が小説「峠」に込めた想いが刻まれています。文学碑の中には「鎮め物」として、旧幕府軍と新政府軍両軍の銃弾が納められています。

園 小千谷市高梨町



いしょくていとうちゅう  
**居・食・亭 東忠**

江戸時代から続く、木造3階建てのこちらの割烹は、河井継之助が新政府軍との会談後に昼食をとったといわれる座敷「梅の間」が現存していることでも有名です。小千谷市の厳選された素材を使った、創作日本料理を味わうことができます。



園 小千谷市元町11-11 園 0258-82-2033 園 不定休  
 園 ランチ11:00~L.O13:30/ディナー17:00~L.O22:00(要予約)  
 (カフェは16時まで。夜は予約のみ営業)



うらがらじんじゃけいだい ほひ  
**浦柄神社境内の墓碑**

戊辰戦争で亡くなった22人の墓碑があります。会津藩白虎隊士「新国英之助」のほか、新政府軍参謀代理「時山直八」の墓碑もあり、地元の人々が「亡くなってしまえば敵も味方もない」と大切に供養しています。



園 小千谷市浦柄660

あさひやまこせんじょう  
**朝日山古戦場**

河井継之助と岩村精一郎の会談が決裂し、榎峠の戦いの後、戦場が朝日山に移り、死闘が繰り広げられました。戦いは、両軍の大砲小砲が間断なく響きわたったといわれ、山頂にはフランス式塹壕や野営地の跡が現存しています。また、戊辰戦争関係の資料展示もある他、展望台から小千谷市を一望することができます。



園 小千谷市朝日山山頂

ごちいん  
**五智院**

707年に創建したといわれている寺院。北越戊辰戦争後、縮商人山本比呂伎は、子どもたちの教育こそが最も重要だと考え、だれもが学べる公の学校として、明治元年、今の小千谷小学校の前身「振徳館」（日本で最初の公立学校）を五智院を借りて開校しました。



園 小千谷市元町14-7 園 0258-82-2915

ふなおかやませいぐんぼち  
**船岡山西軍墓地**

市街地南部の小高い船岡山にある船岡公園には、北越戊辰戦争西軍殉職者 199名の墓碑が整然と並んでいます。かつて多くの戦死者が近隣寺院に埋葬されていましたが、明治41年に有志が船岡山に合葬しました。園内には、戦火から町を守った立役者の1人である戊辰戦争時の庄屋・佐藤半左衛門の墓や時山直八を顕彰する「時山君の碑」が建立されています。



園 小千谷市船岡山山頂